㋑　発声の仕方に気を付けて歌う技能
㋒　友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能
イ　器楽の活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(ｱ) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら，曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し，器楽表現に対する思いや意図をもつこと。
(ｲ) 次の㋐及び㋑について気付くこと。
㋐　曲の雰囲気と音楽の構造との関わり
㋑　楽器の音色と全体の響きとの関わり
(ｳ) 思いや意図にふさわしい表現をするために必要な次の㋐から㋒までの技能を身に付けること。
㋐　簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能
㋑　音色や響きに気を付けて，打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能
㋒　友達の楽器の音や伴奏を聴いて，音を合わせて演奏する技能
ウ　音楽づくりの活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(ｱ) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら，次の㋐及び㋑をできるようにすること。
㋐　音遊びを通して，どのように音楽をつくるのかについて発想を得ること。
㋑　音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつこと。
(ｲ) 次の㋐及び㋑について，それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くこと。
㋐　いろいろな音の響きの特徴
㋑　リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴
(ｳ) 発想を生かした表現，思いや意図に合った表現をするために必要な次の㋐及び㋑の技能を身に付けること。
㋐　設定した条件に基づいて，音を選択したり組み合わせたりして表現する技能
㋑　音楽の仕組みを生かして，簡単な音楽をつくる技能
エ　身体表現の活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(ｱ) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら，リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り，体を動かすことについての思いや意図をもつこと。
(ｲ) 次の㋐及び㋑の関わりについて気付くこと。
㋐　曲の雰囲気と音楽の構造との関わり
㋑　曲名や歌詞と体の動きとの関わり
(ｳ) 思いや意図にふさわしい動きで表現するために必要な次の㋐から㋒までの技能を身に付けること。
㋐　示範を見て体を動かしたり，曲の速度やリズム，曲の雰囲気に合わせて身体表現したりする技能
㋑　音や音楽を聴いて，様々な動きを組み合わせて身体表現をする技能
㋒　友達と動きを合わせて表現する技能

B　鑑　賞
ア　鑑賞の活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
(ｱ) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら，曲や演奏のよさなどを見いだして聴くこと。
(ｲ) 曲想とリズムや速度，旋律の特徴との関わりについて分かること。

○２段階
(1) 目　標
ア　曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに，表したい音楽表現をするために必要な歌唱，器楽，音楽づくり，身体表現の技能を身に付けるようにする。
イ　音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや，曲や演奏のよさを見いだしながら，音や音楽を味わって聴くことができるようにする。
ウ　主体的に楽しく音や音楽に関わり，協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら，様々な音楽に親しむとともに，音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
(2) 内　容